

第 4 号

えびなの教育

発行 年 3 回・12500 部
 編集・発行 海老名市教育委員会
 〒243-0492 海老名市勝瀬 175-1
 ☎046 (231) 2111



8月28日、大谷小学校で、サマースクールの「防災教室」を開催。災害発生時の対応を学ぶ講義や、消火器の使用訓練（左写真）、起震車での地震体験（下写真）など、子どもたちや保護者が、防災について学びました。



《主な内容》

- 2面 いじめをしない させない 許さない!
- 3面 ひびさあう教育研究発表大会
サマースクール
- 4面 校庭芝生化事業・点検評価報告書
食の創造館一般開放

夏休みも終わり、新学期を迎えた海老名の子どもたち。

夏休み中は、照りつける夏の太陽の暑さにも負けず、元気に遊ぶ姿が見られました。

また、小学校では、夏休みにサマースクールを実施。さまざまな実習や遊びなどを体験し、有意義な夏のひとときを過ごしていました。

(サマースクールについては3面下段を参照)

いじめをしない させない 許さない！ 保護者としての役割と関わりのポイント

いじめは、重大な人権侵害であり、決して許されることではありません。しかし、どの学校にも、どの子どもにも起こり得るものです。また、誰もが「いじめる側・いじめられる側」になる可能性があります。

神奈川県教育委員会が作成したリーフレット「いじめをしない させない 許さない！」（今年3月発行）では、保護者・地域・学校のそれぞれが、いじめ防止に向けて「どのような視点で接し、どのように声かけをしていけば良いのか」を分かりやすく解説しています。

今回は、リーフレットの内容のうち、“家庭（保護者）”としての役割や、関わりのポイントについて解説します。※リーフレットは神奈川県教育委員会ホームページからダウンロードできます。



いじめを起ささないために

子どもと対話をする (いじめについても話題にする)



「今日学校で何が楽しかった？」
「クラスで困っている人はいない？」
「心配なことがあったら相談して」

子どもをほめる

家庭での役割が果たせたとき
→「あなたがいて助かるよ。いないと困るよ」
できなかったことができたとき
→「がんばったね！」
できないことをやろうとしているとき
→「がんばっていること知ってるよ」



子どもと一緒に地域の行事に参加する

→参加した子どもと触れ合いましょう

いじめを解消するために

「いじめられている側」の保護者

子どもの安全と安心を確保することを最優先する

→子どもの気持ちに寄り添い、解消に向けて学校と力を合わせましょう



「あなたを絶対に守る」
「あなたは決して悪くないよ」

「いじめている側」の保護者

「いじめという行為は絶対に許されない」ことをしつけ、「いじめ」を通して大切なことを学ばせる

→「うちの子に限って」と思わず、事実を聞き取ります
また、子どもの気持ちは受け止め、行為は強く否定します

「△△したことに腹が立ったんだね。でもあなたがした行為は、とてもいけないことだ。その行為は許せない」
「いじめをしてしまう、あなたが心配だ」



いじめを見逃さないために

「いじめられているかもしれない」と思ったら、まず「心配している」というメッセージを伝える



「元気がないね」
「何か心配なことがあるの？」
「気がかりなことでもあるの？」



「いじめにあっているの!？」と問い詰める
「あなたにも悪いところがあるからだ」
「勘違いじゃない?気にし過ぎだ!」
→子どもが言いにくくなってしまいます

子どもの感情を受け止め、言葉で伝える

「よく話してくれたね」
「それは辛かったね」「悔しいね」



「どうしたら良いか?どのようにしていくか?」を一緒に考える

「〇〇さんは、とても傷ついている。どのように接していけば良いと思う?」
「あなたには、こんなに良いところがあるのだから、これから◇◇を頑張っていこうよ」

ひびきあう教育研究
発表大会を開催
研究の取り組みや成果を発表



8月22日、市文化会館大ホールで「ひびきあう教育研究発表大会」を開催しました。

この大会は、教育課題についての教育実践や、調査研究等の発表を通して、教育関係者だけではなく、保護者や一般市民の方々が、共に海老名の教育について考えることを目的としています。平成15年度から開催し、今年で11回目を迎えました。

当日は、市立小・中学校の先生をはじめ、各小・中学校の保護者、学校評議員、一般市民の総勢約400人が出席しました（下写真）。会場では、平成24年度のひびきあう教育研究指定校（有鹿小学校・上星小学校）と、算数・数学的活動研究委員会（学校の先生や教育委員会職員で構成）が行った研究の取り組みや成果などが発表されました（右下表参照）。

最後に、帝京大学教職大学院客員教授の矢野英明先生から、「大変すばらしい取り組みである」という講評をいただき、盛会のうちに終了することができました。



当日の発表内容

【有鹿小学校】

「進んで学び合い、生き生きと取り組む児童の育成～体育科の指導の工夫を通して～」

【上星小学校】

「自ら考え、主体的に取り組む子どもの育成～伝え合い学び合う国語科の授業づくり～」

【算数・数学的活動研究委員会】

「わかる・できる・考える算数・数学の授業のあり方～算数・数学的活動を通して～」

夏休み

サマースクールを行いました

今年から
8月下旬にも実施



本来、夏休みは、子どもが家庭や地域でゆったりとした時間を過ごし、学校生活では育むことができない社会性や協調性を身に付ける大切な期間です。しかし現在では、子どもが安全に遊んだり、友だちと自由に活動したりする場所の確保が難しくなっています。

このため、市では、子どもたちの健全育成の場として、多くの子どもたちが学年の枠を超えて、友だちや地域の人たちと「ひびきあう」ことができるよう、市内の全小学校でサマースクールを実施しました。

サマースクールでは、安全性が高く、冷房機器を完備した学校施設を開放し、日ごろ学ぶことのできない実験やスポーツ、芸術鑑賞などを体験することができました。

◆特色ある内容に多くの子どもたちが参加◆

昨年度まで、7月下旬にのみ実施していたサマースクールを、今年度は、新学期に向けてスムーズに学校生活をスタートできるよう、8月下旬にも実施しました。

今回は、各実行委員会の主体性・独自性をさらに推し進め、特色ある内容で実施し、前期（7月下旬）は延べ約1万3千人、後期（8月下旬）は延べ約600人の子どもたちが参加しました。

お知らせ

平成25年8月9日付で、瀬戸清規教育長が辞職いたしました。

後任の教育長が決まるまでの間、仲戸川元和理事（教育担当）が、教育長職務代理者として教育長の職務を執り行います。

推進しています 校庭芝生化事業

市内の小・中学校では、校庭の一部の芝生化事業を実施しています。

校庭の芝生化は、児童・生徒のけがの軽減や、土ぼこりの飛散防止、ヒートアイランドの軽減、温暖化の抑制などの効果があります。

写真④ 杉久保小学校の芝生



写真⑤ 東柏ヶ谷小学校の芝生

教育委員会の事務

点検評価報告書を公開しています

市教育委員会では、毎年、教育行政事務の内容について点検・評価を行い、その報告書を作成しています。

これは、前年の事業執行状況について、教育に関する学識・経験を持つ方々の意見や助言を得た上で、教育委員会が評価・作成するものです。

今回は、市の教育理念である「ひびきあう教育」の推進に向けた事業から、7 施策 14 事業を抽出し、評価を行いました。多様な教育の展開、青少年の育成など、教育委員会の事業内容と、その効果について確認できますので、ぜひご覧ください。報告書は、市役所・市ホームページで公開しています。

食の創造館

会議室・調理実習室を一般開放しています

食の創造館では、市内の団体などに、会議室・調理実習室を一般開放しています（下表参照）。食に関する講習や研修だけではなく、調理を伴う地域の交流イベントにも利用できますので、ぜひご利用ください。

※会議室と調理実習室は、つなげて一部屋として使用することもできます。

～利用案内～

- **利用対象** 広く食育の推進に寄与する活動を行う市民または市内の団体など
- **利用時間** 8 時～21 時〔1 時間単位で貸し出し〕（第 3 日曜、年末年始を除く）
- **利用受付** 月曜～金曜 8 時～16 時 30 分（土曜・日曜・祝日を除く）
利用日の 3 カ月前から 3 日前までに、電話または直接、食の創造館へ
- **問い合わせ** 食の創造館（海老名市中新田 4-12-2 電話 046-231-2151）

部 屋 名	会 議 室 (約 52 m ²)	調 理 実 習 室 (約 66 m ²) ※調理台 5 基
定 員	25 人	25 人
費 用 (1 時間当たり)	200 円	500 円

「作ってみよう給食レシピ」を開催

今年 3 月 27 日・29 日、食の創造館の調理実習室で、「作ってみよう給食レシピ」を開催しました。

当日は、市内小学校の児童と保護者 19 組 44 人が参加し、栄養士の指導を受けながら、普段学校で食べている給食メニューを自分たちの手で作りました（下写真）。

- ◆メニュー◆
- キムタク丼
- 大豆の磯煮
- 中華コーンスープ



写真⑥ 当日の様子



次号の「えびなの教育」は 1 月発行です